

# ユニセックスファッションのサイズに関する調査結果

Survey results on unisex fashion sizes

中村 邦子

大妻女子大学短期大学部家政科

Kuniko Nakamura

Department of Domestic Science, Otsuma Women's University

12 Sanban-cho, Chiyoda-ku, Tokyo, 102-8357 Japan

キーワード：ユニセックスファッション，ジェンダーレスファッション，  
衣料サイズ，サイズ設定，ネットリサーチ

Key words : Unisex fashion, Genderless fashion, Clothing size, Size setting, Internet research

## 抄録

現在、ジェンダーレスという言葉がより一般的になり、ファッション業界でも男女の性別に囚われな  
いデザインが重視されている。企業の制服では、性別に関係なく制服を選べるようになった。また、中学・  
高校の学生服も男女共用デザインのものを選択できる動きが広まっている。本研究では、現在確立され  
ていないユニセックスファッションのサイズシステムについて検討するため、その基礎資料となる、ユニ  
セックスファッションの浸透度や意識について男女年齢層別にネットリサーチによるアンケート調査  
を行った。ユニセックスファッションに関する現状の把握とユニセックスファッションのサイズ表設定  
の基礎資料を得ることを目的とする。調査結果から、男女共用衣料のサイズ表示については、商品のサ  
イズや、サイズ表示が異なる、サイズ表示がわかりにくいなどの問題点があり、分かりやすい商品サイ  
ズの表示とメーカー間の商品サイズの標準化が求められる。

## 1. 緒言

ユニセックスファッションの流行は、2015年ご  
ろから流行が始まったワイドシルエットの流行に  
影響されている。ヨーロッパの高級ブランドであ  
るロエベ (LOEWE) の2015年春夏メンズコレク  
ションおよびグッチ (GUCCI) の2016年春夏メン  
ズコレクション<sup>[1]</sup>のように、男女のモデルに同じ  
デザインの服を着装させ、花鳥の刺繍やレース、  
鮮やかな色遣いなど「女性的・女らしい」と見なさ  
れる装飾や素材、色彩を取り入れた男性服がショ  
ーで数多く提案された。現在、ジェンダーレスと  
いう言葉がより一般的になり、ファッション業界  
でも男女の性別に囚われなデザインが重視され  
ている。「東京ディズニーリゾート」を運営するオ  
リエantalランドが2023年4月から、従業員の服  
装や身だしなみについて、男女間の垣根の撤廃に  
乗り出し、性別に関係なく制服を選べるようにな  
った<sup>[2]</sup>。また、中学・高校の学生服も男女共用デザ  
インのものを選択できる動きが広まっている。

「ジェンダーレス」ということばが服飾に使用  
された際にどのような意味で用いられ、具体的  
にはいかなるデザインを指すのかについては、3社  
の新聞記事の定義を踏まえ、ジェンダーレスな服  
飾とは、「性差が存在しておらず、誰もが自由にデ  
ザインを分かち合うことが可能な装い」とされて  
いる<sup>[3]</sup>。

言葉の使い分けとしては、ユニセックスとは、  
『男女の区別がない』と言う意味で、ユニセック  
スファッションは男女兼用のファッションやコー  
ディネートを指し、ジェンダーレスファッション  
とは、男女の枠組みを取り払った「性別に関係な  
く」着こなすことができるファッションのことで、  
男性らしさとか女性らしさなどにとらわれること  
のない、“自由なファッション”と位置づけること  
ができる。

服についての男物、女物の意識については、図1  
に示す、博報堂生活総合研究所 [生活定点] 調査<sup>[4]</sup>

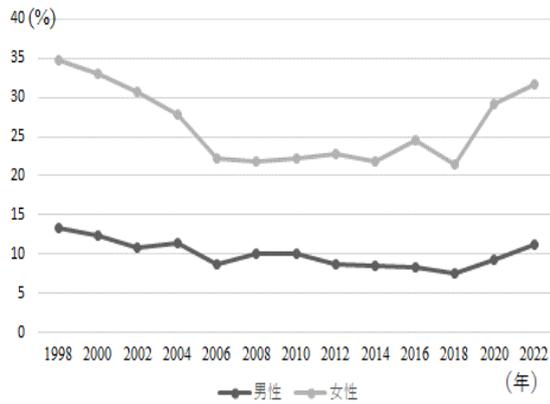


図1. 「服を買うときは男用か女用か気にしない」  
(出典：博報堂生活総合研究所「生活定点」調査)

で毎年実施されている。「あなたの衣生活に当てはまるものを教えてください」の問いの中で、1998年から毎年調査されている、「服を買うときは、その服が男用か、女用か気にしない」と答えた人の割合のうち2022年の結果は、前年と変化がなく、21.4%であった。男女差は女性のほうが20ポイント高い結果である。また、年代別では20代が32.6%で全体より11ポイント高く、逆に60代は10ポイント低い11.2%との結果であった。大まかな傾向を見ることはできるが、詳細についての調査は行われていない。

本研究では、現在確立されていないユニセックスファッションのサイズシステムについて検討するため、その基礎資料となる、ユニセックスファッションの浸透度や意識について男女年齢層別にネットリサーチによるアンケート調査を行った。ユニセックスファッションのサイズ表設定の基礎資料となることを目的とする。

## 2. 調査方法

### 2.1. 予備調査の実施方法

全国、男女、15~69歳、所要時間約10分。ファッションサイトでの購入者などサンプル数2000に

対して、「ジェンダーレスファッション、ユニセックスファッションに興味のある方」の割合を男女別、年齢別にアンケート調査を調査会社に委託して行った。調査時期は2022年11月10日である。

### 2.2. 本調査の実施方法

対象は予備調査で「ジェンダーレスファッション、ユニセックスファッションを購入または着用したことがある」と回答した方に本調査を行った。アンケート項目は、自分の性とは異なる服や男女共用の衣服（ジェンダーレスファッション、ユニセックスファッション）を購入・着用する理由、上半身用衣類の購入する際のサイズ、下半身用衣類の購入する際のサイズ、アイテム別に肩幅や着丈などどの部位に困っているか、サイズ表示について、購入する方法、購入方法とその理由など。所要時間約20分。15~69歳までの男女で、サンプル数600回収完了までWEBアンケート調査を調査会社に委託して行った。男女比は、男性200人、女性400人であった。調査時期は2023年1月5日、6日である。

## 3. 資料

### 3.1. 改正されたJIS衣料サイズについて

現在、男女共用サイズは、男性用衣料品の中にも含まれている。20年ぶりに全国調査データをもとに2023年3月に改正されたJIS衣料サイズ<sup>[1]</sup>では、男女兼用サイズについては、男女混合の人体計測や形状、流通している男女兼用サイズの基本身体寸法などのデータを集めたうえで、数値を含めた規格化をする必要があるとされ、男女共用サイズの考え方を浸透させ、消費者がサイズを選ぶ際の指標となる呼び方と基本身体寸法を記載するための枠の設定と業者が許容範囲とする値を表示することとなっている。

表1に改正されたJIS衣料サイズの男女共用サイズ表記を示す。

表1. 改正されたJIS衣料サイズの男女共用サイズ表記

表2-範囲表示 (男女兼用)

呼び方		SS	S	M	L	LL	3L	4L	5L
基本身体寸法	チェスト・バスト	— <sup>*)</sup>							
	ウエスト	— <sup>*)</sup>							
	身長	— <sup>*)</sup>							

注\*) 基本身体寸法は、衣料の製造業者、販売業者が許容範囲とする値を表示する。

【出典：JIS L4004 表17】

## 4. 調査結果および考察

### 4.1. 予備調査の結果

予備調査の結果について、「ジェンダーレスファッション、ユニセックスファッションに興味のある方」の割合を男女別、年齢別にアンケート調査を調査会社に委託して実施した。ジェンダーレスファッション、ユニセックスファッションに興味があると回答したのは、『非常にある』が6%、『ややある』が17%、『あまりない』が30%、『全くない』が47%で、購入または着用したことがありますかの問いには、『ある』が375人で18.4%、『ない』が1668人で81.6%との結果であった。

### 4.2. 本調査の結果

本調査の結果、ジェンダーレスファッション、ユニセックスファッションに興味があるかとの問いでは、図2に示すとおり、『非常にある』14%、『ややある』42%、『あまりない』33%、『全くない』11%であった。購入または着用する理由は、『大き目のサイズが好き』40.3%、『シンプルなのが好み』34.7%、『体のラインが強調されない』が29.7%、『自分の好きなファッションを楽しみたい』28%、『かっこいい』19.3%、『男女の性別が表に出ないのがよい』19.3%などとなっている。オーバーサイズやビッグサイズなどで性別を曖昧にして、着こなしに自由や柔軟性が存在する装いが着用する理由である。

購入または着用をしたことがあるアイテムは、『Tシャツ』60.2%、『スエットの上』48.7%、『パーカー』39.5%、『スエットの下』36.2%、『セーター』26%、以下、『カジュアルシャツ』、『カーディガン』、『ジャケット』、『Gパン』、『ポロシャツ』、『コート』の順となっている。

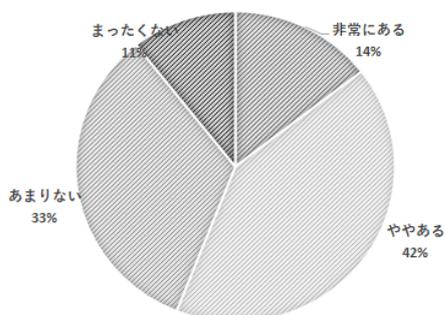


図2. ジェンダーレスファッションやユニセックスファッションに興味があるか

その他、バッグ、シューズ、財布などのアイテムも見られた。

購入するサイズを、上半身・下半身別で聞いた結果、ジャケットやシャツなどの上半身用の服については、メンズM 32.7%、メンズSが30.7%、メンズ・レディースの表記のないものが18.7%。下半身衣では、メンズ・レディースの表記がないものが21.8%、メンズS 18%、レディースM 18%という結果であった。上半身衣の結果を図3に示す。男女別では、男性は、メンズのLから3XL、レディースのXL、3Lと比較的大きなサイズを選択している。女性ではメンズのXS、S、Mの出現率が高く、続いてレディースのS、M、F、Lの順であった。

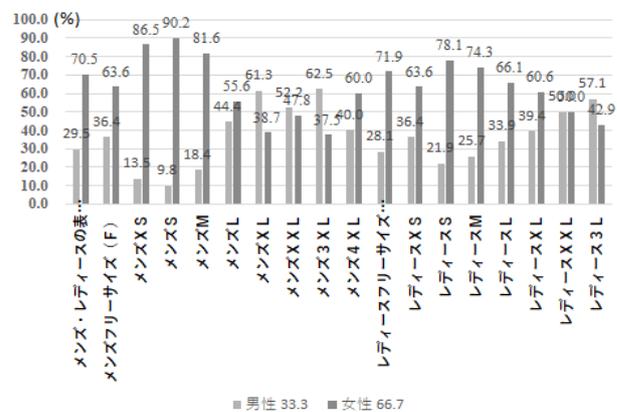


図3. 上半身用の男女共用の衣服（ジェンダーレスファッション、ユニセックスファッション）を購入するサイズ

アイテムごとにどの部位で困っているかについては、表2に示すとおりである。特に、コートでは、肩幅が50%、着丈33.3%、袖丈36.1%、ジャケットでは、肩幅45.5%、袖丈33%、Tシャツでは、肩幅38.8%、着丈27.6%、バスト・チェストが15.5%となっている。ジェンダーレスやユニセックスファッションの衣料が、ビッグシルエットであるがゆえにバストやチェストよりも肩幅のサイズ感が重要視されていると思われる。下半身衣である、スエット（下）、ショートパンツ、パンツ、Gパン、下着、作業着（下）では各アイテムすべて、ウエストサイズに対して困っているとの回答であった。もともとビッグシルエットであるカジュアルシャツでは、34%と3割の人が問題ないと感じている。

表 2. アイテムごとにどの部位で困っているか

	スウェット(上)	Tシャツ	カーディガン	セーター	ポロシャツ	ジャケット	コート	パーカー	ブラウス	カジュアルシャツ	作業着(上)	スウェット(下)	シヨートパンツ	パンツ(アウター)	Gパン	作業着(下)
肩幅	31.7	38.8	23.7	35.2	23.5	45.5	50.0	29.6	40.0	30.2	37.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ゆき	14.4	9.5	18.4	13.0	23.5	9.1	19.4	8.5	20.0	11.3	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
着丈	25.0	27.6	28.9	25.9	8.8	15.2	33.3	19.7	40.0	22.6	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
袖丈	27.9	13.8	31.6	29.6	29.4	33.3	36.1	31.0	35.0	28.3	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
首回り	5.8	11.2	10.5	11.1	2.9	6.1	11.1	4.2	25.0	5.7	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
バスト・チェスト	13.5	15.5	10.5	14.8	8.8	12.1	13.9	11.3	20.0	13.2	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
袖幅	6.7	7.8	15.8	11.1	11.8	9.1	11.1	8.5	10.0	3.8	18.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ウエスト	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	52.1	54.2	48.5	57.6	50.0
ヒップ	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.4	33.3	27.3	33.3	25.0
股上	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.4	25.0	27.3	27.3	8.3
股下	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.8	29.2	30.3	24.2	25.0
問題なし	24.0	25.9	23.7	27.8	26.5	18.2	22.2	26.8	20.0	34.0	18.8	17.8	20.8	18.2	21.2	33.3

 25%以上

表 3 に示すとおり、サイズ表示について困っていることは、『メーカーによって商品のサイズが異なる』が 41.7%、『メーカーによってサイズ表示が異なる』が 38%、『どのサイズを選んだらよいかわからない』が 26.3%、『サイズ表示がわかりにくい』が 25.3%であった。

表 3. 男女共用衣服のサイズ表示で困っていること(複数回答可) (%)

メーカーによって、商品の大きさが異なる	41.7
メーカーによって、サイズ表示が異なる	38.0
特に問題はない	27.8
どのサイズを選んだらよいかわからない	26.3
サイズ表示が分かりにくい	25.3

2023 年 3 月改正の JIS では、男女共用サイズの考え方を浸透させ、消費者がサイズを選ぶ際の指標となる呼び方と基本身体寸法を記載するための枠の設定と業者が許容範囲とする値を表示するとなっているが、より分かりやすい商品サイズの表示とメーカー間の商品サイズの標準化が求められるところである。

#### 4.3.本調査の結果を踏まえての今後の課題

日本人の人体寸法データベース 2014-2016 から算出した基本統計量<sup>[6]-[9]</sup>から、男女年齢層ごとに、今回のアンケート結果のうち男女共用ファッションの衣料のサイズで困っている個所から抽出された部位(胴囲、背丈、袖丈、背肩幅)の計測値を表 4 に示した。男女間の差は、25 歳未満では、胴囲 8.8 cm、背丈 6.7 cm、袖丈 4.6 cm、背肩幅 5.5 cm。25 歳~40 歳未満では、胴囲 12.4 cm、背丈 8.3 cm、袖丈 5.3 cm、背肩幅 5.7 cm、45 歳~55 歳未満では、胴囲 14.1 cm、背丈 8.0 cm、袖丈 4.3 cm、背肩幅 5.1 cm の差がある。

ジェンダーレスファッション、ユニセックスファッションなどはビッグシルエットのデザインが多いが、男女共用衣料における今回のアンケート調査で抽出された胴囲、背丈、袖丈、背肩幅などの項目のサイズ設定をどうするか、男女共用衣料の標準的な体型の設定をどのようにすればより利用しやすいものになるか、人体データベースから算出し、設計の基礎資料を作成することが今後の課題である。男女が共に着られるように、体型や骨格に応じた幅広いサイズ展開のもととなる基礎資料を作成したいと考えている。

表 4. 男女年齢層別の胴囲, 背丈, 袖丈, 背肩幅比較  
(2014-2016 日本人の人体計測データより作成)

		25歳未満		25歳~40歳未満		40歳~55歳未満	
		平均値	標準偏差	平均値	標準偏差	平均値	標準偏差
女性	胴囲	655.6	52.2	681.0	69.8	706.5	73.1
	背丈	379.1	19.6	386.9	20.6	388.4	18.4
	袖丈	524.8	23.1	522.9	22.7	525.1	21.5
	背肩幅	380.1	21.7	380.4	21.8	382.4	21.0
男性	胴囲	743.9	65.4	804.6	79.0	847.3	81.2
	背丈	446.3	30.4	469.4	31.8	468.9	33.8
	袖丈	571.7	25.5	576.1	27.3	568.2	24.0
	背肩幅	435.4	25.4	437.5	28.2	433.4	25.2

## 5. 結言

本調査の結果, 男女共用の衣服 (ジェンダーレスファッション, ユニセックスファッション) を購入・着用する理由は、『大きめのサイズが好き』, 『シンプルなのが好み』, 『体のラインが強調されない』, 『自分の好きなファッションを楽しみたい』, 『男女の性別が表に出ない』であり, 購入時のサイズは, 男性は, メンズの L~3XL, レディースの XL, 3L と比較的大きなサイズを選択, 女性ではメンズ XS, S, M の出現率が高く, 続いてレディースの S, M, F, L の順であった。

サイズで困っている部位は, 上半身では, バストやチェストよりも肩幅のサイズ感が重要視されており, 下半身衣ではウエストが最も重要である。

サイズ表示については, 『メーカーによって商品のサイズが異なる』, 『メーカーによってサイズ表示が異なる』, 『どのサイズを選んだらよいかわからない』, 『サイズ表示がわかりにくい』のことで, 胴囲, 背丈, 袖丈, 背肩幅などを考慮したより分かりやすい商品サイズの表示方法の検討とメーカー間の商品サイズの標準化が求められる。

## 謝辞

本研究は大妻女子大学戦略的個人研究 (N2209) の助成を受けたものです。ここに感謝を申し上げます。

## 付記

本研究は大妻女子大学生命科学研究倫理委員会の承認 (No.2019-036-1) を得て実施しました。

調査にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

## 引用文献

- [1]モード界に「ノージェンダー」の波 性差を超える作風。日本経済新聞電子版。2015-11-21, <https://www.nikkei.com/article/DGXMZO94144070Y5A111C1NZ2P00/>, (参照 2023-10-16)。
- [2]東京デイズニー, 従業員の身だしなみで男女別表記を撤廃。日本経済新聞電子版。2023-3-23, <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC22BOC0S3A320C2000000/>, (参照 2023-3-23)。
- [3]新實五穂, 「ジェンダーレス」な服飾における性差—全国紙三紙の掲載記事を対象として—人文科学研究。2019. No.15, p.41-51。
- [4]博報堂生活総合研究所「生活定点」調査。<https://seikatsusoken.jp/teiten/>, (参照 2023-9-15)。
- [5]日本産業標準調査会 (JISC)。<http://www.jisc.go.jp/>, (参照 2023-6-1)。
- [6]中村邦子ほか, 2014-2016 日本人の人体計測データの分析結果—日本人成人女性の人体寸法の推定—, 繊維製品消費科学会誌。2020. Vol.61(12), p.849-863。
- [7]中村邦子ほか, 2014-2016 日本人の人体計測データの分析結果—日本人成人男性の人体寸法の推定—, 繊維製品消費科学会誌。2022. Vol.63(5), p.34-43。
- [8] (一社) 日本家政学会被服構成学部会。日本人の人体寸法データベース 2014-2016。2019。
- [9]大塚美智子, 高部啓子, 渡邊敬子, 武本歩未編著, 日本人成人の人体寸法データブック 2014-2016。(一社) 日本家政学会被服構成学部会。2019。

---

**Abstract**

---

Today, the term "genderless" is becoming more common, and the fashion industry is emphasizing gender-neutral designs. In corporate uniforms, people can now choose uniforms regardless of gender. There is also a growing trend for junior high and high school students to be able to choose uniforms designed for both men and women. In order to examine the size system of unisex fashion, which is not yet established, we conducted an online survey on the penetration and awareness of unisex fashion by male and female age groups, as the basic data for this study. The purpose of this study is to understand the current situation of unisex fashion and to obtain basic data for setting up a size chart for unisex fashion.

Regarding the size indication of unisex clothing, there are problems such as different product sizes, different size indications, and difficulty in understanding size indications, and there is a need for easy-to-understand product size indications and standardization of product sizes among manufacturers.

---

(受付日：2023年10月21日，受理日：2024年1月16日)

**中村 邦子 (なかむら くにこ)**

現職：大妻女子大学短期大学部家政科准教授

専門：被服構成学，被服体型学 現在は，日本人の体型データベースに基づく衣料サイズについての研究を行っている。